

第1章 地域課題検討会の概要

(1) 外環の計画と経緯の概要

国土交通省と東京都では、東京外かく環状道路（関越道～東名高速間）（以下、外環という）について、計画の初期段階から幅広く意見を聴きながら検討を行ってきました。

構想段階では、平成13年に「計画のたたき台」、平成15年に「方針」を公表し、P I 外環沿線協議会等様々な場を活用して、幅広く意見を聴きながら、その必要性等の検討を行ってきました。その検討を踏まえ、平成17年には外環の整備による首都圏の交通渋滞や環境の改善、経済効果、都市再生に果たす役割等から、沿線地域をはじめ首都圏全体として、外環の必要性は高いと判断し、構想段階を終了しました。

次の計画段階では、計画概念図を公表し、外環整備に伴う地域環境への影響や対策について、より詳細な検討を行い、東京都知事が平成19年4月に道路構造を高架方式から地下方式に変更する都市計画変更決定を行い、計画段階を終了しました。また、同年12月の第3回国土開発幹線自動車道建設会議の議を経て、国土交通大臣は建設線の区間、主たる経過地などの基本計画を決定しました。

今後事業を実施した際に、外環事業をよりよいものとするため、地域の課題に対してどのような対応が可能か具体的に検討していく必要があります。これまで、今後のP Iについて、P I 外環沿線会議でのご意見、「外環ジャーナル」や「ホームページ」を活用して住民の方から頂いたご意見、有識者の方々からのご意見など多くのご意見を頂きました。国土交通省と東京都では、これらの意見を参考にしながら、環境対策やまちづくりなど多岐にわたる地域の課題を地域ごとに整理し、その対応の方針をまとめることとしました。とりまとめにあたり、国土交通省と東京都は沿線区市と協力し、地域のみなさんの意見や考え方を取り入れるため、平成20年1月から、沿線の区市において地域の実情にあわせた地域課題検討会を順次開催し、同12月には実施状況について公表したところです。

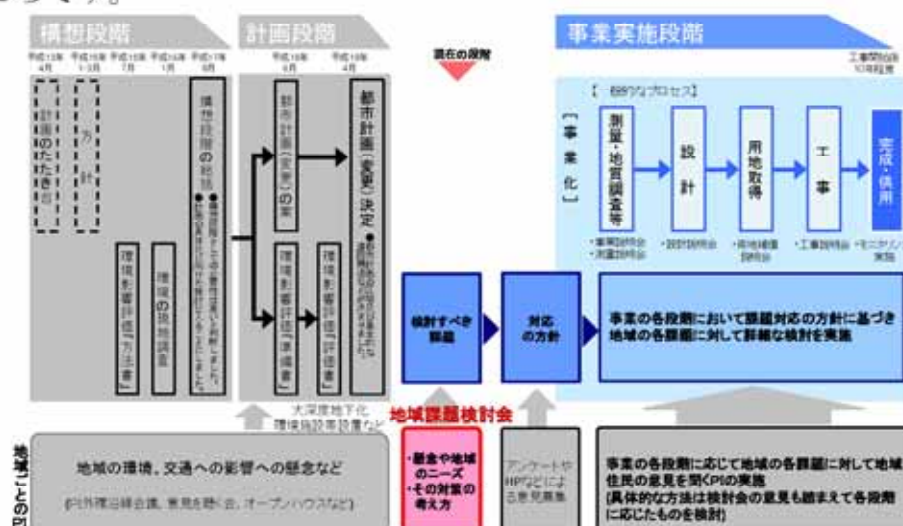


図 検討の経緯と今後の進め方

(2)地域課題検討会の開催経緯

○募集メンバー、募集期間

- ・ 地域課題検討会のメンバーは公募により募集しました。
 - ・ 対象地域：大泉学園町一、四丁目、東大泉一～三丁目、大泉町一～六丁目、土支田二～四丁目、三原台一～三丁目、谷原四～六丁目、石神井町二、四、八丁目、高野台五丁目に住の方
- ・ 募集期間：平成 20 年 2 月 11 日～平成 20 年 3 月 10 日
- ・ メンバー登録人数：123 名

○第 1 回 平成 20 年 3 月 29 日(土)14：30～18：00 参加人数 93 名

会場：練馬区立三原台中学校体育館

- ・ 第 1 回目では、まず、外環の概要、地域課題検討会の趣旨と進め方についての説明が行われました。その後、全体進行役の進行によって、メンバーがグループごとに議論を行いました。

グループ検討では、会の進め方に関する意見や地元に住まわれている方々の視点から、外環への具体的な懸念などについて意見が出されました。

【検討テーマ】

- ・ 地域課題検討会の趣旨、検討の進め方についての確認
- ・ 外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること



○第2回 平成20年5月24日(土) 10:00~17:30 参加人数 62名

会場：練馬区立泉新小学校体育館

- 第2回の開催に先立ち、午前中に現地見学会が行われ、地域課題検討会のグループ毎に分かれて、大泉ジャンクションの計画地周辺を歩き、現状や地域情報について確認しました。

また、午後の検討会では、第1回の検討内容や進め方に関する確認がなされたあと、前回に続き地域の懸念や期待することなどについて、グループ毎の検討を行いました。午前中の見学結果も活かしてテーマや場所ごとに論点を絞って話し合い、最後の全体発表で、各グループの話し合いの結果を共有しました。

【検討テーマ】

- 外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること



○第3回 平成20年7月13日(日) 9:00~13:30 参加人数 65名

会場：練馬区立泉新小学校体育館

- 第3回地域課題検討会では、はじめに参加者の皆様から前回頂いたご意見を踏まえて、地域課題検討会の進め方の考え方や改善した点などを説明し、次に前回までに議論して頂いた「外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること」の成果を踏まえて、主催者が「検討すべき課題(案)」を提示しました。

これをもとに、グループごとに今回のテーマ「課題解決のための考え方の方向性と課題の検討時期等」について、“場所や計画の段階ごとにどんな配慮が求められるか”等の検討を行い、全体発表を通じて各グループの検討結果を共有しました。

【検討テーマ】

- 課題解決のための考え方の方向性と課題の検討時期等



○第4回 平成20年10月13日(月・祝日) 13:00~18:00 参加人数 63名
会場：練馬区立泉新小学校体育館

- ・ 第4回地域課題検討会では、第3回で議論して頂いた「課題解決のための考え方の方向性と課題の検討時期等(案)」の成果を踏まえて、新たに主催者が「課題への対応の方向性と検討時期等(案)」を提示しました。グループ検討では、その内容を確認のうえ、“課題に対しての具体的な解決策”、“今後詳細に検討する段階において検討の進め方や住民の関わり方”等について検討を行いました。

全体発表では、各グループごとにこれまでの議論の総括として発表して頂き、これまでの検討を共有しました。

【検討テーマ】

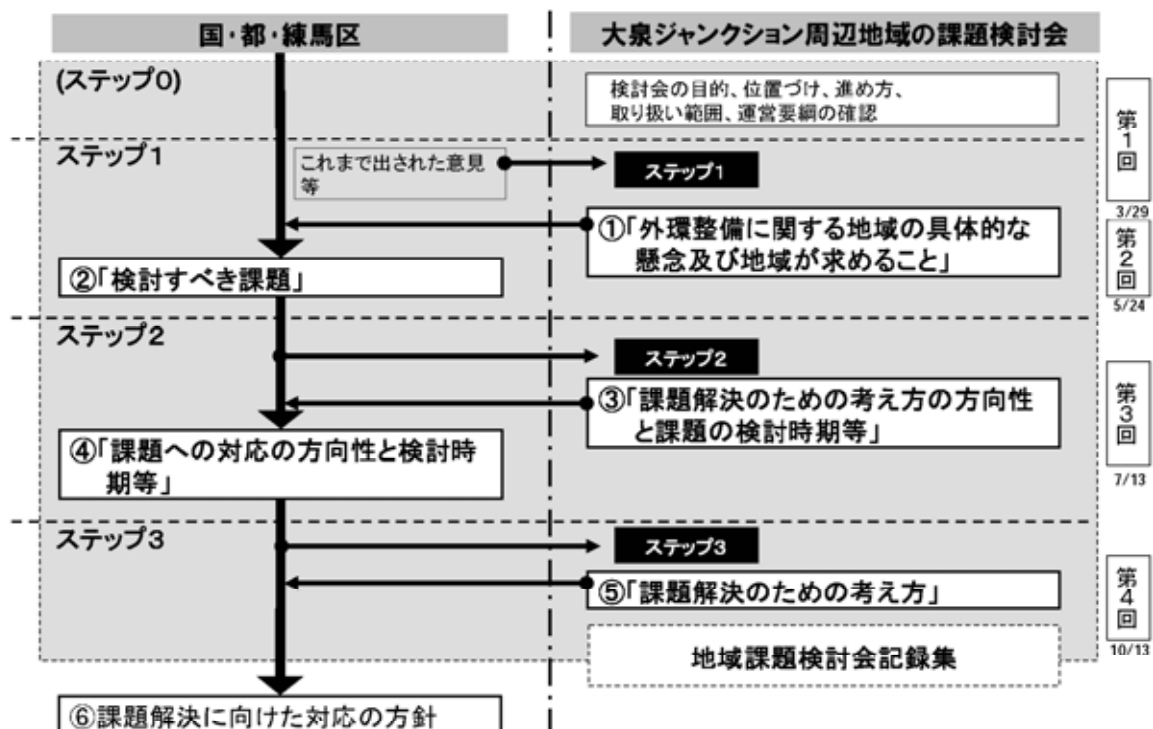
- ・ 課題解決のための考え方



(3) 地域課題検討会の検討プロセス

外環整備に伴う地域の課題の解決に向けた対応の方針を検討するにあたり可能な限り反映します。また、対応の方針とりまとめ後も、各段階ごとに引き続き地域の意見を聴きながら、より具体的な対応について検討します。

なお、地域課題検討会の進め方の例は以下の通りです。



〈ステップ1〉

①外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること【検討会】

- ・ 外環計画が具体化した際、地域にとっての懸念や期待を住民の視点でまとめたものです。

②検討すべき課題【主催者】

- ・ 「外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること」の意見の趣旨を踏まえて、主催者が外環事業やまちづくりを検討する上でそれぞれの立場から現時点で認識した課題を交通、環境などのテーマで分類しまとめたものです。

〈ステップ2〉

③課題解決のための考え方の方向性と課題の検討時期等【検討会】

- ・ ステップ2において、各グループで議論いただいた成果となるものです。
- ・ 本文は、これまでグループごとに各メンバーが議論した内容を「調査、計画、工事、その他」に分けて運営事務局が整理した部分（箇条書きの部分）と、

その議論を踏まえて各グループの進行役が整理した枠組み部分とで構成されています。

④課題への対応の方向性と検討時期等【主催者】

- ・ 外環計画が具体化した際の大泉ジャンクション周辺地域の基本的な方向性と、課題への対応の検討時期を整理したもので、「課題解決のための考え方の方向性と課題の検討時期等」を受けて、主催者としての現時点での認識を示したものです。

〈ステップ3〉

⑤課題解決のための考え方【検討会】

- ・ 課題解決のための具体的な考え方（アイデア）等を住民の視点でまとめたものです。

⑥課題解決に向けた対応の方針【主催者】

- ・ 検討すべき課題に対する具体的な考え方（アイデア）等を踏まえて、課題に対する対応の方針を示したものです。